

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 25 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 20 日 作成

事務事業名		合志市各種大会等出場助成事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	教育委員会事務局教育部 課長名 中島 正剛			
	施策	19	義務教育の充実		所属課	学校教育課 担当者名 西高文江			
	基本事業	63	体育の推進		所属班	学務指導班 (内線) 2237			
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	合志市部活動各種大会等出場補助金交付要綱	成果優先度評価結果	12
	1	10	1	3	10669			コスト削減優先度評価結果	6
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 不明 年度)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	小中学生の全国大会等への参加者より、参加経費の一部補助の要望が高まり、小中学生のスポーツ活動、文化活動奨励の意味からも補助金を出すようになった。以前と比べて種々の大会が開催されており、本市からも県予選を通過しての参加者も増加している。特に、バレーボール、バスケットボール、柔道、剣道等の九州大会や全国大会に出場している。平成22年度からは、要綱を改正し学校の部活動以外の担当窓口を企画財政課へ移行し、学校の部活動のみへの補助を実施する。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	【事業の内容】
【業務の流れ】	申請受付、補助金交付決定、請求支払い事務、大会参加確認(実績報告)、補助金精算事務
【主な予算費目】	補助金
【意見や要望】	保護者からはお礼の言葉が寄せられている。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
小中学校の児童生徒で組織する団体又は個人が、県大会以上の大会等へ出場する場合に、大会等への出場に要する経費を助成した。申請件数 113件 補助金総額 3,166千円	各種大会等出場補助金: 1,700,000円
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	(単位)
⇒ア 県大会以上の大会に参加する児童生徒数 人	イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
県大会以上の各種大会等に出場する児童生徒の保護者	⇒ア 小中学校の児童生徒 人
	⇒イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
県大会以上の大会に参加する経費の一部を補助することにより、保護者の経済的負担を軽減する。	⇒ア 県大会以上の大会に参加し、補助を受けた児童生徒の率 %
	⇒イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	
県大会以上の大会に参加する児童生徒がどの程度いるかの予測は不可能であるため、県大会以上の大会に参加した小中学校の児童生徒のうち本事業の補助を受けた児童生徒の率を成果指標とした。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込	
④ 活動指標	ア	人	290	140	260	270	140	140	140	
	イ									
⑤ 対象指標	ア	人	5101	5168	5,262	5,262	5,334	5,477	5,506	
	イ									
⑥ 成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	100	
	イ									
投資入量	事業内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円		2,071	2,430	3,166	1,700	1,700	1,700
		一般財源	千円	4,983						
	(A) 事業費計	千円	4,983	2,071	2,430	3,166	1,700	1,700	1,700	
	(A)のうち指定経費	千円								
	(A)のうち時間外、特勤	千円								
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	3	3	3	3	
	延べ業務時間	時間	310	310	310	324	200	200	200	
	(B)人件費計	千円	1,231	1,240	1,234	1,290	796	796	796	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	6,214	3,311	3,664	4,456	2,496	2,496	2,496	

総トータルコスト	全体計画
～	年度
(期間限定複数年度のみ記載)	0
	0
	0

合志市

事務事業名	合志市各種大会等出場助成事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	----------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ 全国大会での遠方への参加は保護者にとって多額の出費であり、成果を向上させるには、補助金額の引き上げることだか、市の財政状況を考慮すると現状維持又は補助金の縮小の方向にならざるを得ないので成果向上余地はない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

今年度は、例年になく補助金の申請者が多く、周知も徹底されていることを実感できた。
来年度は、学校の部活動への補助のみを学校教育課が担当し、個人出場分の担当課は企画財政課へ変更するが、周知不足で誤って以前の担当課である学校教育課に申請書が提出される保護者もいることが想定されるため、当面は、周知も兼ねて、学校教育課でも移行先の申請書で受け付けることが必要と思われる。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下	
		コスト																				
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 補助金引き下げについて、学校・保護者が納得するように説明する必要がある。																						